

B I M／C I M活用業務ロードマップ（案）について

建設工事の生産性向上については、I C T活用モデル工事等の取り組みを実施しているところだが、業務においても生産性向上に向けた取り組みが必要となっている。

このため、計画・調査・設計段階から※B I M／C I Mモデルを導入することにより、その後の工事施工、維持管理の各段階においても同モデルを用いて事業全体にわたる関係者間の情報共有を容易にし、建設生産・管理システム一連での効率化・高度化を図ることを目的にB I M／C I M活用業務においても推進していくこととし、当面の実施方針についてロードマップ（案）を定める。

※B I M／C I Mモデルとは、「3次元モデル：構造物等の形状を3次元で立体的に表現した情報」と
「属性情報：3次元モデルに付与する部材情報（部材名称、形状、寸法及び強度など）」を組み合わせたもの

1. 対象業務等

- ・ロードマップ（案）のとおり

※当面、建設部所管事業において実施するものとするが、他部で実施する同様の業務においても実施を妨げるものではない

2. その他

- ・要領等については、制定次第別途通知するものとする
- ・要領等の制定前に実施を想定している業務については、個別に技術管理課と調整のもと実施するものとする

B I M／C I M活用業務_ロードマップ（案）

発注方式・業務区分		R 3 (実績)	R 4 (予定含む)	R 5	R 6	R 7
発注者 指定型	測量 ^{※1}	—	・UAV写真3件	・「新規選定会議を経た地区」に関する 測量 ^{※2} ・詳細設計 ^{※3} について“『 <u>発注者指定型</u> 』原則適用”		
	設計	・橋梁詳細1件	・橋梁詳細2件 ・道路詳細1件			
受注者 希望型	測量 ^{※1}	—	—	・「BIM/CIM活用業務_詳細設計 ^{※3} 」が想定される地区 における測量 ^{※2} について“『 <u>受注者希望型</u> 』原則適用” ※適用状況等を見極めながら、順次「発注者指定型」へ対象業務を移行する		
	設計	・道路詳細1件	・河川予備1件	・詳細設計 ^{※3} について“『 <u>受注者希望型</u> 』原則適用” ※適用状況等を見極めながら、順次「発注者指定型」へ対象業務を移行する		

※1. 対象業務：UAV等を用いた測量
(空中写真測量、航空レーザ測量、地上レーザ測量、UAV写真測量 及び UAVレーザ測量 など)

※2. 対象業務：路線測量 及び 現地測量

※3. 対象業務：道路構造物設計（道路、トンネル、橋梁）
河川構造物設計（築堤・護岸、樋門・樋管、水門、堰 ※「樋門・樋管、水門、堰」に関しては重要構造物のみとする）
ダム構造物設計（ダム本体、ダム付帯施設）
海岸構造物設計（海岸堤防護岸、突堤、海域堤防）
砂防構造物設計・地すべり防止施設設計